

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	<p>計画や施策を紹介する媒体について 公募イベントによる賑わいの創出について 定例記者会見の方法について 定住促進に係る情報誌制作会社との意見交換 など</p>
日 時	平成 28 年 9 月 27 日（火） 14 時～17 時 30 分
場 所	第 2 委員会室
出席者	<p>伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 広報課長及び同課職員 3 名 （一部のみ） 総合政策部参事 政策推進課長及び同課職員 1 名 情報誌制作会社 3 名</p>
主な意見	<p>計画や施策を紹介する冊子について 印刷物は目的に応じて作成する方がよい。記録的な白書の位置づけであれば、情報の漏れがないこと重視し、見やすさへの配慮は最低限でよい。反対に、市民に何かを伝えたいのであれば、市民は何に興味があるのかという観点から、具体的な内容・情報が必要。</p> <p>岡東中央公園などでの公募イベントによる賑わい創出について 回数を増やすには、同じ団体に定期的なイベントを開催してもらうよう働きかける方法もある。終日開催は負担が大きいが、夕方だけなど、短時間でもできるようにすると継続的に開催しやすい。</p> <p>定例記者会見の方法について 大阪府では毎週開催し、3～4 案件を発表し、その後、質疑応答の時間がある。報道提供自体は 1 日に 20～30 あり、大阪府庁が、積極的に情報開示をするように変化した時期でもあった。</p> <p>定住促進に関する情報誌制作会社を交えた意見交換 シティプロモーションで求められるのは「認知」「興味」「共感」「行動」につながる仕組みづくり。具体的な PR 計画の前に、枚方市にとってのターゲットや魅力の要素を棚卸しした上で、骨太のコンセプトを考える必要がある。</p>
事務局	市長公室 広報課